

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月14日実施)	総合評価(3月24日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの多様な学習目標や進路希望を踏まえた学習指導を実践する。</p> <p>②自ら課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力等の育成のために自ら学ぶ力を育む学習活動を実践する。</p> <p>③幅広い教養と確かな学力を身につけさせ総合力の育成を図る。</p>	<p>①授業力向上に向けた授業研究の年間計画、テーマに基づき、継続的に組織的な授業改善を行っていく。</p> <p>②総合的な学習の時間において探究的な学習や主体的な学習を進めていく。</p>	<p>①職員の意識が高まるよう、生徒による授業評価や研究授業などの内容の充実を図る。</p> <p>②教員マニュアル等を作成し、それを活用することにより統一的に指導にあたり、生徒の主体的な学びの伸長を図る。</p>	<p>①生徒による授業評価などの結果などを評価の観点に活用する。</p> <p>②年度末に生徒にアンケートを取り、主体的な学びができたか確認、評価する。</p>	<p>①生徒による授業評価を2回、研究授業を1回行い、それに基づく協議も実施し授業改善の意識を深めることができた。生徒による授業評価の前期に比べ、後期の方が各項目とも2～5ポイント上昇している。</p> <p>②生徒による「研修報告書」や「総合学習の年間のまとめ」の中で、「主体的な学びができた」と評価している生徒が多い。総合的な学習の時間が主体的な学びの一翼を担っている。</p>	<p>①来年度も引き続き、継続的で組織的な授業改善を図っていく。</p> <p>②数値的な評価ができていないので来年度は早い時期にアンケートを実施し、数値で評価していく。</p>	<p>①アンケート結果からも授業改善が進んでいる様子がうかがえ、評価できる。今後も主体的な学びを意識し授業を行うことが必要である。</p> <p>②主体的な学びの場が提供されており、結果も出ている。教員の指示よって行う学びではなく、本来の意味での主体的な学びが実践されることを期待する。</p>	<p>①授業力向上に向けた授業研究の年間計画や年間テーマに基づく継続的、組織的な授業改善が進んでいる。教員間の温度差も多少あるので、改善していく。</p> <p>②総合的な学習の時間を中心として、探究的な学習や主体的な学習も進んでいる。</p>	<p>①②引き続き、日々の授業を大切にして、生徒一人ひとりの多様な学習目標や進路希望を踏まえた学習指導を実践していく。</p>
2 生徒指導・支援	<p>①部活動や行事を通して、生徒の論理的思考力・表現力・創造性を伸ばし、リーダーシップや企画力の向上を図る。</p> <p>②よりきめ細かな個別支援を実現することにより、生徒一人ひとりが安心した学校生活を送ることができるよう支援する。</p>	<p>①生徒会活動を生徒の主体的な活動の場として捉え、教員は助言指導・サポート役に徹し、生徒の能力の伸長を図る。</p>	<p>①部活動や行事を通して生徒のリーダーシップや企画力の向上を図るために、生徒の力で活動できるように助言する。</p>	<p>①部活動や行事を通して生徒のリーダーシップや企画力の向上を図れたかアンケートを実施し評価する。</p>	<p>①文化祭の生徒アンケートでは「生徒の力で作りあげることができたか？」という問いに対し97%の生徒が肯定的な回答をしている。教員側の評価も、生徒の組織内の連携を図り、生徒主体的な活動が行えていると評価している。また、今年度の反省を踏まえ、すでに次年度の計画を行っており、企画力の向上が見られている。</p>	<p>①生徒主体の活動に関して結果だけを評価するのではなく、そこにたどり着く過程や、その中での成長に着目した指導を進めていく。</p>	<p>①生徒会活動が主体的に行われている。部活動や学校行事は人間形成の上でとても大切なことである。授業時間の確保の重要だが、工夫をし、今後減らすことなく、実施していくべきである。</p>	<p>①文化祭や体育祭などで、生徒の主体的な活動の場として捉えられてきており、結果も出てきている。これからは進めていくとともに、生徒会本部役員による自主的活動の活性化も図っていく。</p>	<p>①引き続き、部活動や行事を通して、生徒の論理的思考力・表現力・創造性を伸ばし、リーダーシップや企画力の向上を図っていく。</p>
3 進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりが目指す進路の実現に向けて、様々な支援や指導を実践する。</p>	<p>職員間の連携を図り「キャリア教育実践プログラム」の着実な実践を通じて、生徒の進路実現を支援する。</p>	<p>「キャリア教育実践プログラム」の着実な実践が進むよう、主管グループを中心とした組織的な体制づくりに取り組む。</p>	<p>組織的な体制づくりを取り組むことができ、今後の支援体制を確立することができたか。</p>	<p>主管グループを中心とした組織的な体制づくりが進んでいる。また、キャリア教育実践プログラムに基づき、生徒一人ひとりに将来の職業や生き方を考えさせることができた。</p>	<p>キャリア教育実践プログラムを再確認し、生徒一人ひとりに将来の生き方を考えさせるための支援方法を検討する。</p>	<p>組織的なキャリア教育が進んでおり評価できる。キャリア教育の中で消費者教育も重視すべきで、体験的な活動を取り入れ、その活動を通じて学びを深めてほしい。</p>	<p>「キャリア教育実践プログラム」の着実な実践が進むよう、主管グループを中心とした組織的な体制づくりが進んでいる。今後はキャリア教育実践プログラムの再確認を行う。</p>	<p>組織的な体制づくりを進め、生徒一人ひとりに将来の職業や生き方を考えるような指導を行っていく。</p>

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月14日実施)	総合評価(3月24日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②後援組織である三徳会・牧陵会との連携を深め、学校教育支援体制の充実を図る。</p>	<p>①学校の教育活動を積極的に地域等へ公開するとともに、行事等では参加してもらえるよう努める。</p>	<p>①文化祭などの行事に来校してもらい学校の状況を知ってもらう。また、避難訓練に地域の方にも参加してもらう。</p>	<p>①多くの方に来校、参加してもらったか。</p>	<p>①文化祭において、保護者や卒業生の他、地域の方々にも来校していただき、6800人を超える方々に、生徒の様子を見てもらった。また、避難訓練においても、今年度はじめて地域の方に参加してもらった。</p>	<p>①引き続き、教育活動を地域等へ公開し、多くの方に来校してもらえるよう努める。さらに、地域との関わりを深めていく。</p>	<p>①文化祭以外にも今年度は避難訓練等でも地域との連携が図れている。今後は、生徒が地域との関わりを意識する場面や考える時間をさらに設け、地域との協働を深めてほしい。</p>	<p>①文化祭においては多数の来校者を迎え、避難訓練においても、地域の方に参加してもらった。今後も学校の教育活動を積極的に地域及び保護者への公開としていくとともに、緑高セミナーの地域からの参加者を増やしていく。</p>	<p>①避難訓練や緑高セミナーの地域の参加者を増やしていくために、告知方法等を検討していく。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①全職員が参画し、組織的・機動的な学校運営体制を推進する。</p> <p>②生徒・保護者に信頼される学校を維持するために事故不祥事防止に努める。</p>	<p>①職員の意見交換の場としての「緑の意見交換会」を定期的実施し、全職員が参画する運営体制を活性化させる。</p>	<p>①半期に1～2回「意見交換会」を実施し、職員に積極的に参加してもらい、意見交換を行う。</p>	<p>①開催することができたか。有意義な意見交換ができたか。</p>	<p>①年間で4回「意見交換会」を実施し、生活指導や修学旅行、キャリア教育などに関する意見交換を行うことができた。しかし、参加者が多くはない状況にあるので改善を図りたい。</p>	<p>①開催する時期や方法を検討し、参加者を増やし、意見聴取の場のひとつとしていきたい。</p>	<p>①引き続き実施していくことが必要である。参加が増えるよう方法を改善してもらいたい。</p>	<p>①職員の意見交換の場としての「緑の意見交換会」を定期的実施することができた。来年度は放課後が少なくなり実施可能日の減少が見込まれる。開催方法の再検討が必要である。</p>	<p>①今年度と同程度の実施回数確保するとともに、参加者の増加も図れるよう、開催方法を改善する。</p>